

# Libra | on

# vol. 30

りぶらいおん

<http://www.libra-sc.jp>

特集：① 竹内図書館長インタビュー  
② 防災講座のご報告



- りぶら中央図書館情報
- 私の一冊 vol.25
- 市民活動団体紹介 岡崎ガラス工芸愛好会
- りぶらサポーター紹介 山下 好子
- りぶらの生涯学習ガイド 11月・12月



図書館交流プラザ(愛称:Libra)は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。りぶらサポータークラブ(LSC)は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。





## 図書館の付加価値を高めるために 竹内図書館長インタビュー

この4月から、岡崎市立中央図書に新しい館長さんが就任されました。毎回、館長さんは市の職員の方が勤めていらっしゃる。

それまでは他の部署で仕事をしていた人が、いきなり図書館長という立場になるのです。皆さん、最初の数カ月は図書館について、かなり集中的に勉強をされるので、インタビューは職場に慣れた9月ごろに行うことにしています。

新しく図書館長に就任されたのは、竹内栄一氏です。まずは、市職員としての履歴からスタートし、今後の図書館経営に対する思いなどについて、お話を伺いました。

4月から、太平洋の真ん中に放り込まれたような感じで、右往左往しています。大卒で市役所に入り、いろんな仕事をしてきました。その中で一番印象に残っているのは、30歳前後に関わった国際交流事業です。

岡崎市は、スウェーデン王国のウッデバラ市と姉妹都市になっています。縁を取り持ったのは花崗岩なんです。いわゆる御影石ですね。二つの都市は、いずれも花崗岩の上に築かれているんです。私が担当した時期はちょうど国際交流が盛んになり始めた頃で、交流のための様々な企画に関わりました。

スウェーデン国内の移動の主な手段に電車を使ったんですが、現地の人たちと親しく言葉を交わす機会が多く、とても思い出深いものがあります。電車のコンパートメントで、フランス人・ドイツ人・スウェー



デン人・日本人が英語を介して会話をするという体験もありました。いわゆる「人と文化と交流」という点で、このりぶらを舞台にした今回の仕事に相通じるものがあると感じています。

その後は、建設ラッシュで右肩上がりだった下水道部の財務・経理を担当していました。このときは、建築関係のことや都市計画に関する法律などを集中的に学びました。

今回、図書館長に就任したときも同様ですが、それぞれの部署には特有の専門性があるって、いずれも短期間で一定の知識を身につける必要があるんです。日々の業務をこなしながらの勉強はなかなか大変ですが、張り合いも感じています。

この図書館に来る前の9年間は、監査委員事務局にいました。市民の皆さんからいただいた貴重な税金が、ちゃんと市民サービスの向上に向けて有効・適切に使われているかどうかをチェックする部門です。合理的かつ効率的な行政が確保されているかどうか、常に公正な視点で取り組むことを心がけてきました。

図書館長は、その監査を受ける立場なんです。正直言って、いささかやりにくい感じはありますが、どんな部署でもやるべき仕事をするのが職務だと思っています。いまはまさに、図書館運営についての勉強の毎日です。

まず、図書館の歴史から学んでいます。ですが、本を読むときには、習慣でどうしても線を引いたり書き込みをしてしまうので、基本的に、本は買って読んでいます。

私の中のこれまでの図書館のイメージは、「静かに本を読む空間」というものでした。ですから、「りぶら」に初めて足を踏み入れたときには、そのオープンなスペースにびっくりしました。昔ながらの図書館のイメージとのギャップが大きかったんですね。



イラスト/いしはらいずみ

でも、今度岐阜市立中央図書館として計画されている「ぎふメディアコスモス」の情報などを見ると、ワンフロアもすでに古いイメージなのかもと思いますし、「開かれた運営」をどのような形で実現していったらよいか、を考えていかなければいけないと思っています。

ですから、LSCにはとても期待しています。図書館でのボランティア活動に図書館がどう関わるか、寄付で成立しているアメリカの図書館は、マネジメントがとてもしっかりしていたり、本当に学ぶことが多いですね。そこには、ボランティアのイメージが福祉関係に連想される日本とは違う文化がありますし、司書の専門性や地位も確立されています。では、岡崎の図書館はどこを目指していくのか、図書館の価値を高めるためにはどうすればいいのか、一緒に考えていけるといいですね。

ヨーロッパの中世の歴史に関心があるという竹内館長さん。日本の中世との心象が似ているそうです。次回には、是非「私の一冊」の紹介をお願いしたいと思います。(e)



# 防災講座 in りぶらまつり実行委員会

## 報告書 2013.10.6

講師：川田昇司氏（防災・危機管理アドバイザー）

りぶらサポータークラブでは、2年前の東日本大震災から、「りぶら」で被災したときにどうすればよいのか、を考えてきました。基本的に「職員の指示に従う」ということはわかるのですが、市民活動団体としてできることは何かということを見ると、知っておくべきことはいろいろあるだろうと思われました。そんなとき、企業で防災管理をされていた川田氏との出会いがあり、2月の「りぶら」の防災訓練に参加させていただいたことで、今回の「防災講座」の企画が立ち上がりました。

11月16日・17日に、第5回目となる「りぶらまつり」が開催されます。開催に向けて、毎年実行委員会が立ち上がり、運営が進められています。「りぶらまつり」の実行委員会は、多くの市民活動団体の皆様が一堂に会する機会でもあり、開催当日は「りぶらまつり」の主催者として、参加者の安全の確保に責任があります。そこで、「りぶらまつり」のプログラムが仕上がった10月6日、第3回目の実行委員会において90分の「防災講座」が開催されました。

「あなたにとって大切なものは何ですか？」という参加者への問いかけから講座が始まりました。参加者の何人かに「火事だー！」と叫んでもらい、「いざという時に大きな声を出すのは難しい」ということが実感されたうえで、自分にとって大切なものを思い浮かべて叫ぶ、ということとの違いがわかりました。また、「緊急対応力の改善事例」などの紹介で、消火器の場所や防災扉の認知の必要性や危険性について、わかりやすく説明をしていただきました。

「りぶら」には約300の消火器および設備が設置されているという報告にも驚きましたが、それらがすぐに使える状態であることも確認できたそうです。しかし、「りぶらまつり」などのイベントの開催時には、大勢の人がいろいろな荷物を持ち込みますので、関係者全員が意識して臨むことが必要です。当日の実践課題として、まずは「消火器や非常口付近に物を置かない」ということから始めたいと思います。

私たち行事の主催者には、参加者の安全に配慮する義務があります。行政の施設なので、基本的には「職員の指示に従う」ということにはなりますが、その前提として「自分の身は自分で守る」があり、団体の代表者であれば、団体の関係者も守らなければなりません。そのために、防災や危機管理の基本知識が必要です。講座では、繰り返し意識づけていくことの大切さも学びましたので、今後も定期的に講座の開催を進めていきたいと思いました。(e)

### 講座のまとめ

#### 【講座の目的】

主催者として「加害者」にならない。  
参加者として「被害者」にならない。

#### 【そのためにすること】

1. 消火器や消火栓などの管理を妨げない。
2. 非常口や避難路の空間を確保する。
3. “いざという時”は、なにはさておき自分が落ち着く。

#### 【どうやって】

1. 「消火器」や「消火栓」の周りに、物を置かない（防火）。
2. 「非常口」の付近や「通路」に、物を置かない（避難）。
3. いざという時は、“落ち着いてー！”と叫ぶ（避難）。

#### 【指差し呼称をやってみよう！】

消火器、ヨシ！ 非常口、ヨシ！ 避難路、ヨシ！



### 参加者の感想

- ・対応の仕方や大きな声で叫ぶことなど、大切なことがわかった。
- ・防災意識を確実にするためには何年もかかる。一番身近なものを守れることが大事。
- ・頭で考えるのではなく、実際に口に出したり目で確かめること。動いて歩いて、確かめることが大事。
- ・「3秒、3分、3時間」。身を守り、逃げ、確認することを忘れないようにしたい。
- ・経験のないことは出来ない。実際に火事だと大声で叫ぼうとしても、いざとなったら出来ない。声の限界を経験しておくのが大事。
- ・りぶらが考えている避難の仕方を教えてほしい。
- ・あらためて、火事について考え、消火器・非常口・避難路の大切さを感じた。これからは常に心のすみに置いておくようにします。家内安全が第一です。
- ・まつりの「出し物」ばかり考えていた。みんなを集めて何かを行うことの心構えを再認識させられました。
- ・災害は忘れたところに、の言葉通り。定期的にこのような機会を作って欲しい。
- ・現地にて説明が欲しかった。
- ・週に3回も通っているりぶらの中に、どこに消火器があるのか、どこから逃げるのか、特に気にとめることもありませんでした。今日の会場のすみに置いてある消火器ですら気が付きませんでした。今後はりぶらに限らず、自分のいるところの消火器、避難路など確認ができるように心がけたいと思います。



## りぶら中央図書館情報

### ご存知ですか？こんな図書館サービスあります 借りた場所以外でも返却できます！

岡崎市には中央図書館の他、額田図書館・各市民センター図書室（岩津・大平・中央・東部・南部・六ツ美・矢作）・岡崎げんき館情報ライブラリーがあります。

額田図書館・各市民センター図書室では、小説をはじめ、経済・医学・料理・手芸・園芸・絵本・児童書など、多分野の資料を所蔵しています。岡崎げんき館情報ライブラリーでは、スポーツ・健康・育児・市民交流（自然・暮らし・趣味等）をテーマとした資料を所蔵しています。すべての場所で貸出・返却ができます。また、中央図書館と額田図書館と地域図書室とをネットワークで結んでおり、最寄りの地域図書室で予約資料を受け取ることや、中央図書館で借りた資料をお近くの地域図書室に返却することができます。

### 借りた場所以外でも返却できます！

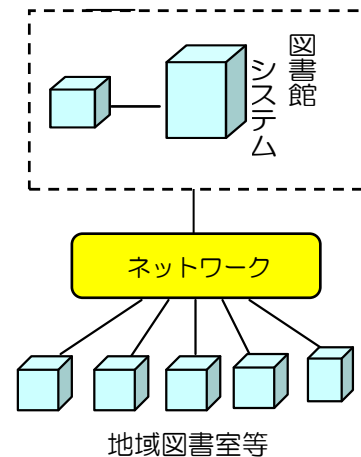
中央図書館の他、額田図書館及び地域図書室でも返却できます。

- ◎ 額田図書館
- ◎ 市民センター図書室（岩津・大平・中央・東部・南部・六ツ美・矢作）
- ◎ 岡崎げんき館情報ライブラリー

※ 他の自治体の図書館から借用した資料（相互貸借資料）は中央図書館の1階カウンターへお返しください。他の自治体の図書館から直接借りた資料は返却できません。



中央図書館



### レファレンス事例集

松江市教育委員会が学校図書館での「はだしのゲン」に閲覧制限要請をし、その後撤回した報道について、「図書館の自由」を考えるよい機会となりました。改めて「はだしのゲン」を読み直された方からのレファレンスを紹介します。

質問	「はだしのゲン」の中で唱えているお経「帰命無量寿如来 南無不可思議光……」について、解説されている資料はないか。
回答	お経の文面「帰命無量寿如来 南無不可思議光」をインターネットで調べると、「正信偈（しょうしんげ）」は、正式には、「正信念仏偈（しょうしんねんぶつげ）」の冒頭部分であることが判明。「正信偈」に関する資料について紹介する。【資料1～3】などに解説が掲載されていた。
キーワード	「お経」「帰命無量寿如来 南無不可思議光」「正信偈」「正信念仏偈」
参考資料	【資料1】『真宗入門正信偈のこころ』宮城 顕／[ほか]著 真宗大谷派宗務所出版部 188.7 / シ（自動書庫） 【資料2】『ひらがな正信偈』森田 真円／著 本願寺出版社 188.7 / ヒ 【資料3】『祖父と孫の正信偈』亀井 鉞／著 大法輪閣 188.7 / ソ

## 岡崎むかし館企画展「楽しみの世界～レジャーの時代到来！」開催中

期間：平成25年12月10日（火）まで



現在開催中の企画展では、多くの人々が生活に少しゆとりができて、余暇を楽しむようになった1960～70年代を、当時の流行語となった「レジャー」をキーワードに紹介しています。各時代における旅を年表で振り返るとともに、レジャーの時代といわれた1960年代や1970年代を象徴する資料を展示しています。

先日、2020年に東京五輪開催が決定しましたが、本展では1964年（昭和39）の東京五輪の時に使用された「聖火リレーのトーチ棒」、実況放送を録音した「オープンリールテープ」や「ソノシート」なども展示しています。その他にも、観光リーフレットや観光土産品などが並び、人によっては当時の楽しい記憶を思い出させるのではないかと思います。

本展を当時のくらしを想像しながらご覧いただき、家族旅行が楽しめるようになった現在のくらしと比べてみてください。そして、これからのくらしについて、ご家族みんなで話し合ってみてはいかがでしょうか。 担当：中央図書館企画班



## 私の一冊 vol.25

### 「これから始める人のオシロ・ロジアナ入門講座」



長谷川英一  
電波新聞社



巽 教範 (たつみ たかのり)  
株式会社図書館流通センター  
中央図書館2階バックヤードに勤務しております。電気・電子分野が得意です。

この本のタイトルにある「オシロ」というのは、正確には「オシロスコープ」と呼び、電気信号の電圧を時間的变化で表示することができる測定器です。18歳の春に、私はこの本を手に入りました。大学の講義で必要ということで購入しました。

社会に出て10年程、オシロスコープより、「スペクトルアナライザ」と呼ばれる、電波の強さを表示することができる測定器を、日々使う環境で仕事に従事していました。

環境が変わり、電子回路を設計することになりましたが、日々使い慣れていたスペクトルアナライザで、部品を載せたプリント配線板の要所を確認しようとしたところ、そこには使用できないスペクトルアナライザがありませんでした。スペクトルアナライザの数が潤沢ではなかったのです。

当時、スペクトルアナライザの価格は数百万円。対して、オシロスコープは数万円のものからありましたので、私の席にはスペクトルアナライザはなく、オシロスコープ1台と直流安定化電源2台、そして半田ごて2台の環境しかなかったのです。

諸先輩より、「オシロスコープはこうやって見るものだ。」などと、いろいろ教えてもらうのですが、すぐには感覚的に使うことが出来ませんでした。測定器を手足のように使えなくては、なかなか仕事も前には進みません。そのような時にこの本のことを思いだし、棚から取り出しました。何度も繰り返し読み、その後、仕事も何とか前に進むようになりました。また、オシロスコープで充分ことが足りることに気づかされました。

この本の内容は、オシロスコープの原理と使い方を体系的にまとめ、説明したものです。特に動作原理（ブラウン管の原理と動作や掃引と同期など）が、私にとって理解しやすく記述されており重宝しました。原理を知ること、電氣的波形が見えてくるようになり、仕事上での問題解決につながり、「私の一冊」となりました。

理科系離れといわれる昨今ですが、将来、電気や電子関連の開発設計に携わろうとしている方はいらっしゃいませんか？ オシロスコープを理解して操作することは、ハードウェア設計の礎となります。そして実際、プリント配

線板や試作した回路などにプローブをあて、その電氣的な波形を検討し解析を重ねることが経験となり、糧へとつながることでしょう。

残念ながら、この本は中央図書館の蔵書にはありませんでした。「オシロスコープ入門」田中新治：著（549.5/オ）や、「ディジタル・オシロスコープ実践活用法」天野典：著（549.5/テ）などが代替の資料となります。



市民活動団体紹介

# 岡崎ガラス工芸愛好会

岡崎市に、リサイクルガラスを利用したガラス工房があるのをご存知でしょうか？ 30年ほど前、他の自治体に先駆け、八帖クリーンセンター内に設立されたリサイクルガラスの工房は、1997年に中央クリーンセンター内に移転し、「岡崎ガラス工房・葵」として再スタートしました。

まだ暑さの残る10月中旬、リサイクルプラザ内（旧中央クリーンセンター）にある「岡崎ガラス工房・葵」を訪ね、会員の柴田淑子さんにお話を伺いました。当初、姉妹都市の石垣島から迎えた指導者も代を重ね、現在、右の3名が指導・製作に携わっています。



石上 藤原 加賀城

柴田さんのお話

「岡崎ガラス工房・葵」を拠点に活動しているのが、私たち「岡崎ガラス工芸愛好会」です。約20年前に教室に参加していたメンバーで立ち上げ、毎年作品展「きらめき展」を開催しています。



普段は「岡崎ガラス工房・葵」が定例的に開催している経験者対象の「吹きガラスの開放利用」や「パート・ド・ヴェール」「サンドブラスト」の教室を利用しながら作品づくりをしています。メンバーは20人前後ですが、それぞれに参加できる時間に「葵」に通っているため、年1回の「きらめき展」が会員の交流の場になっています。そのため、会には代表を設けず、毎年5人のお世話係を選出して運営しています。



来年の6月には、18回目の「きらめき展」を開催します。作品の展覧を目標に、それぞれが先生方に指導・アドバイスなどを仰ぎながら作品づくりに励んでいます。なかなか思うようには仕上がりますが、ガラスそのものの美しさに魅せられています。教室では、会員はすれ違いになることが多いので、じっくり人の作品を鑑賞する機会がありません。作品展は貴重な交流の機会であり、出展される作品の、いろいろな個性の違いを楽しむことができます。毎年見に来てくださる方の中には、名前と作風を理解されている方もいて、驚きと喜びがあります。



ガラス作品を制作している方は、

どなたでも「きらめき展」＝「岡崎ガラス工芸愛好会」に参加できます。興味のある方は、まず、葵工房の「吹きガラス一日体験」や「体験サンドブラスト」にご参加ください。



取材の日も、3名の先生と柴田さん他、4名の参加者がありました。先生方は指導の傍ら、干支の置物などの商品の製作をすすめ、それぞれの参加者は、自分の作品づくりに取り組んでいました。30年前からと昨年からの参加のキャリアも関係なく、時には参加者同士の会話も弾み、自分のペースで作品づくりのできる環境のようでした。

広いリサイクルプラザの一角で、ちょっとわかりにくい場所でしたが、聞けばきちんと答えてくださいました。今度の「リサイクルの日」に、「体験サンドブラスト」で「りぶらいおん」づくりに挑戦してみようかなと思います。(e)

「岡崎ガラス工芸愛好会」へのお問い合わせはこちら↓  
柴田：tel&fax 0564-52-3649

## 第18回「きらめき展」

平成26年6/4（水）～6/8（日）

### 岡崎市美術館

「岡崎ガラス工房・葵」の教室のご案内

曜日	教室名	時間	料金
毎月第4金曜日	吹きガラス一日体験	9:00～12:00 13:00～16:00	市内1,000円 市外1,500円
月・水 (月3回まで)	吹きガラス開放利用	9:00～12:00 13:00～16:00	市内3,000円 市外4,500円
毎月第1金曜日	パート・ド・ヴェール	9:00～16:00	市内3,000円 市外4,500円
月曜日～木曜日	サンドブラスト	9:00～12:00 13:00～16:00	市内1,000円 市外1,500円
毎月第4日曜日 (リサイクルの日)	体験サンドブラスト	9:00～12:00 13:00～14:30	無料(1点のみ)
※ 詳細の問合せ・申込みは 0564-22-1153 へ (ごみ対策課)			

HP『岡崎ガラス工房・葵』

# りぶらサポーター紹介 vol.11

りぶらサポータークラブ 運営委員 山下 好子さん

## LSCに参加したきっかけは？

趣味でしている太極拳の尊敬している先生から、ボランティアをしてみないかと誘われて、友達3人と参加しました。それまで「りぶら」に来たこともなく、LSCの活動内容もよくわからなかったのですが、何かをしてみたいと思っていた時でもあり、軽い気持ちで参加しました。

## LSCではどんな活動を？

「七夕まつり」「冬のコンサート」「本の清掃ボランティア」「りぶら講座の受付」などのお手伝いしています。

「七夕まつり」は、7月に城北保育園の子供たちが書いた短冊を笹につけます。子供たちの夢はとてもかわいいので、お手伝いをする仕事はとても楽しいです。

「冬のコンサート」では、準備や当日の人の流れを整理しています。コンサートを見学しながら、楽しんで仕事をしています。「本の清掃」も、お世話係として1年が経ちました。毎回おしゃべりをしながら楽しく作業をしています。

## 今までやってきた感想や、今後LSCでやってみたいことは？

LSCの活動について、まだまだ分かっていないことがたくさんあります。ただ、今までパソコンで書類など作ったこともなかったのですが、LSCの活動をする中で、パソコンができるようになりました。

本当は、家にいて本を読んでいたりが好きなのですが、このままでは

いけないと思い、LSCに参加しています。気軽な気持ちで参加したので、後悔することもありましたが、いろいろな経験ができたことと、たくさんの方々と出会えたことを、今ではとてもとてもうれしく思っています。これからも、外に出て元気でパワフルに動いていきたいです。

## LSC（ボランティア）以外で興味のあること・やってみたいことは？

太極拳の他に、よさこいのチームで、福祉の村・ディケアセンターなどへ、よさこいを踊りに行っています。よさこいを踊るのをただ見てもらうだけではなく、皆さんにお一人ずつ鳴子を持っていただいて、一緒に鳴子を鳴らして楽しんでいただいています。みなさんが笑顔になり、元気が出るという下さるので、こちら元気もいただきながら、楽しみながら活動しています。

それから、墨の香りが好きなので、書道を習いたいと思っています。

## プライベートデータ

### 【趣味】

茶道・華道・太極拳

### 【得意なこと】

・洋裁：昔は自分の着るものを全部つ



Libra i on

くっていました。

・クロス刺繍

### 【行きつけのお店】

隠れ料理店「いわしのや平」

岡崎市上三ツ木町字後開道6 1  
43-0801 「鯛のぎょうざ」がオススメ。

### 【行ってみたい所】

もう一度富士登山と尾瀬へ。

ひざが悪いけれど少しでも治して行ってみたい。昔、冬の尾瀬で遭難しそうになりました。

### 【宝物】

中3と小5と1歳の3人の孫。

### 【得意料理】

・パン作り：最近は時間がないのでパンは作っていませんが、オリジナルパン（かぼちゃのアンパン）などが作れます。

・魚の料理：小さな魚から大きな魚までさばけます。

りぶらサポーターになって、  
一緒に「りぶら」を盛り上げよう！

活動サポーター 会費不要・登録のみ  
賛助サポーター 年間：1口2,000円から  
随時、市民活動センターで受付しています。



りぶらいおん©LSC



# 11月・12月のりぶら生涯学習ガイド

催しの予定は、変更や申込受けを終了している場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

日 時	イベント名	料 金	問合せ先
11/5・19・12/3・17 (火) 全4回 13:30～15:30	平成25年度図書館講座 「読み聞かせステップアップ講座」	無料	文化芸術部中央図書館 23-3115
11/5・12・19 (火) 10:00～12:00	ことばの教室 (韓国語)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
11/7 (木) 10:00～	映画「玄靴 (げんびん)」無料上映会	無料	うぶやの会 (川田) 090-1789-
11/7・21 (木) 10:00～12:00	毛筆習字クラブ一般公開	無料	毛筆習字クラブ (深瀬) 23-0299
11/7・21 (木) 10:00～	本の清掃ボランティア	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
11/9 (土) 18:00～	聞いて・見て・食べて「ブラジル」	料理一品持参 または500円	Viva おかざき!! (鈴木) 090-4798-5445
11/9 (土) 9:30～12:00	岡崎むかし館企画展関連催事 ～あるいて楽しむ江戸の面影～	無料 (小学生 以上先着)	岡崎市立中央図書館企画班 23-3167
11/9 (土) 13:30～16:00	世界に一つだけのピザ作り	子ども600円	ポプラの会 (吉田) 080-4227-2742
11/9・23 (土) 11/12・26 (火) 12/14・28 (土) 12/10・24 (火)	女性の法律相談 (要予約)		文化活動推進課 23-3241
11/10 (日) 13:30～	りぶらまつりボランティア説明会	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
11/10 (日) 14:00～16:00	ワールドレクチャー・外国を学ぶ (ベトナム)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
11/10・24 (日) 全2回 10:00～12:00	ワーク・ライフ・バランス講座 「誰でもできるお助けマン～介助実践編」	無料	文化活動推進課 23-6222
11/16 (土)・17 (日) 10:00～	りぶらまつり 2013	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
11/18 (月) 19:00～	佐山雅弘トリオ Vintage JAZZ LIVE	前売: 3000円 当日: 3500円	図書館交流プラザ 23-3100
11/19・12/17 (火) 13:30～15:00	岡崎市はじめましてサロン	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
11/22 (金) 13:30～	今でしょ! ゴスペル無料体験会	無料	ワンボイス岡崎 090-8132-0120
11/23 (土) 14:00～16:00	男女共同参画セミナー「男女の人権尊重」	無料 (託児あり: 有料)	文化活動推進課男女共同参画班 23-6222
11/24 (日)・12/8 (日) ① 10:00～② 11:00～	集まれ! 音楽あそび隊。	初回無料	atumare_ongaku_asobitai@yahoo. co.jp
11/30 (土) 14:00～16:00	男女共同参画セミナー「今、みなおそう! 防災力」	無料 (託児あり: 有料)	文化活動推進課男女共同参画班 23-6222
12/1 (日) 13:30～	ヒマナシ STARS コンサート 昭和の歌心を今一度		(石川) 23-2933
12/2 (月) 13:10～17:10	愛知県消費生活相談サポーター養成講座	無料	(株) 東海アドエージェンシー 052-263-3353
12/7 (土) 14:00～16:00	男女共同参画セミナー 「夫婦げんかとDVの違いがわかりますか」	無料 (託児あり: 有料)	文化活動推進課男女共同参画班 23-6222
12/12 (木)～17 (火)	おかざき市民活動情報ひろば活用講座 (要予約)	無料	りぶら市民活動センター 23-3114
12/14 (土) 14:00～18:00	Soundfall the Live 2013	全席自由 300円	図書館交流プラザ 23-3100
12/14 (土) 14:00～16:00	平成25年度サテライトセミナー 「楽家事でいこう! 今日からできる共家事のコツ」	無料	文化活動推進課男女共同参画班 23-6222
12/19 (木) ① 10:30～② 14:00～	シネマ・ド・りぶら上映会『それでも生きる子供たちへ』	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
12/21 (土) 9:30～	冬のコンサート	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
12/28 (土) 10:00～12:00	りぶら いきものみつけ隊「冬鳥を探して」	初回500円	りぶらサポータークラブ 23-3114

日 時	イベント名	問合せ先
月3回 金曜日 10:00～	はなみずきコーラス	アクア事務局: 080-3615-1349
毎週土曜日 9:10～10:40	時事英語学習会 (月4,000円)	杉浦: 43-6812 (電話・FAX)
木曜日	YOGA (体験500円)	AUJAS CLUB: 080-5128-0483
毎週木曜日 9:45～11:45	気功太極拳	岡崎鶴の会 山口: 21-1658
毎月第2・4火曜日 13:00～	岡崎ハーモニカ同好会	日本ハーモニカ芸術協会公認指導員 (平野)
毎月第2金曜日 10:00～14:00	地域市民セミナー ひざ掛けづくり	市民のきもち研究会 森: 090-8136-1680

Libra l on vol.30 2013/11/1 発行 2008/11/1 創刊 ◆編集・発行: りぶらサポータークラブ  
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地 岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内  
TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142 info@libra-sc.jp http://www.libra-sc.jp

そうだ! りぶらをサポートしよう!  
(1) 活動サポーター (会費不要・登録のみ)  
(2) 賛助サポーター (年会費2,000円から)